

きょういく・さど



令和6年5月7日
佐渡市教育委員会
学校教育課

一人一人を伸ばす教育を

教育長 香遠 正浩

今年佐渡市市制施行20周年です。佐渡市が誕生した平成16年度に小学校に入学した児童は559人でしたが、今年度の1年生は274人です。当時の半数に減少しています。

今求められる協働的な学びを充実するには、ある程度の児童生徒数が望まれます。佐渡市学校再編統合計画に基づいて、よりよい学習環境整備を進めてまいります。

児童生徒数は減少していますが、県大会で好成績を収め、全国大会でも活躍する子どもが多くいます。課題は学力の向上です。

このたび指導主事を2名に増員し、学校を支援する体制を強化しました。また、個別最適な学びの充実を目指して1人1台端末にAIドリルを導入したり、授業以外の学びの場として放課後子ども教室、地域未来塾、土曜学習を拡充したりします。

佐渡市では、郷土愛を軸にしたキャリア教育を通して「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人」を目指した人づくりを行っています。その実現のため「佐渡学」や「課題解決型職場体験」も一層推進します。

確かな学力を育成するには、学びに向かう集団として互いに認め合い、支え合い、励まし合う支持的風土を醸成することも必要です。

不登校や不適応が多い現状を踏まえ、どの子にとっても居場所があり居心地のよい学級・学校づくりも重視していただきたいと思います。

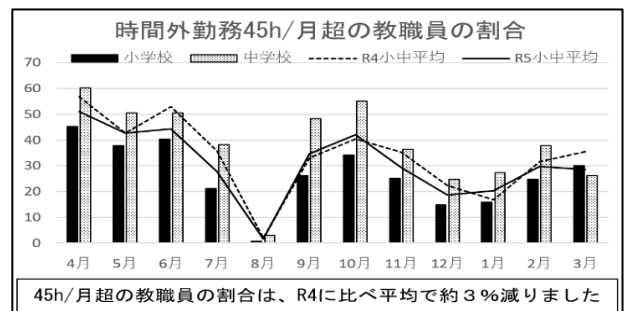
そして「社会に開かれた教育課程」の理念のもと家庭や地域と連携・協働し、社会が一体となって子どもたちを育てていきたいものです。教職員の働き方改革にもつながります。

ご理解とご協力をお願いいたします。

Your smile is my smile.

管理主事 本間 智英

令和6年度がスタートし、超多忙な1か月だったと拝察いたします。4月が1年で最も忙しい月であることは、下記の勤務実態調査でも明らかです。



加えて、4月は、新しい職場環境や子どもとの出会いなど、緊張の連続で精神的にもお疲れになったことでしょう。

さて、みなさんは、なぜ、先生（子どもにかかわる仕事）という職業を選んだのですか。私は、小学校6年生担任の影響です。漠然と「先生になりたい」と考えていましたが、この担任の先生との出会いが「先生になりたい！」という想いを強くしました。

この先生は、休み時間は私たちと一緒に遊び、マラソン大会は一緒に走り、文化祭に展示する絵と一緒に描くなど、いつも私たちと一緒にでした。また、女子を入れて野球大会に出場したり、ミニバスの大会では、大規模校（佐渡の中で）の Kategorie に参加したりするなど、私たちの可能性を広げてくださいました。

みなさんの中にも私のように憧れの先生を目指したり、子どものためにと考えたりして、先生という職業を選んだ方が多いと思います。

その想いを、時々思い出しませんか。今は目の前の仕事、様々起きる出来事に追われる毎日でそんな余裕などない、と叱られるかもしれません。しかし、初心を思い出すことで、自分の大事にしていることや自分の頑張りなどを確認でき、次へのやりがいにつながるのではないのでしょうか。私もみなさんが笑顔で仕事ができるよう、自分にできることを考え行動します。

教職員の笑顔があふれる学校を目指して！

今年度もよろしくをお願いいたします。

学力向上のために

指導主事 田中 良樹

先月の佐渡市学力向上施策方針説明会にて、市の学力実態や課題について説明させていただきました。各学校の先生方におかれましては、これらの課題を踏まえ、「自校の、自学年の、自学級の、目の前の児童生徒の課題は何か」を的確に見取り、授業改善に取り組んでください。

今年度より佐渡市教育委員会の指導主事が2名体制となりました。支援訪問や要請訪問だけでなく、先生方のニーズに応じて指導主事がふらっと訪問する「**ふらっと訪問**」も行います。「授業のことで助言がほしい」「指導案はないけれど、工夫して授業をするので見てほしい」そんな時に市教委指導主事の「**ふらっと訪問**」をご活用ください。お気軽にご相談ください。

市教委指導主事「ふらっと訪問」の流れ

- ①メール・電話で相談
- ②日程調整・内容の相談
- ③訪問（派遣申請等は不要です。）

さて、新年度がスタートして1か月が経ちました。学力向上のための土台には、**学級経営の充実が不可欠**です。教師と児童生徒の信頼関係、児童生徒同士のよりよい人間関係なくして、「主体的・対話的で深い学び」の実現はあり得ません。日々の活動の様々な場面において、よりよい関わりを価値づけ、教師も児童生徒も笑顔のあふれる教室を作っていくてください。私たち教育委員会も全力で支援してまいります。

小中連携の重要性

教育指導主事 吹屋 昇

令和6年度も佐渡市学校教育の重点の一つに「いじめ・不登校を生まない学校づくり」が掲げられました。その未然防止のために、児童生徒の自己肯定感を高めるための取組に注力いただくようお願いしているところです。とはいえ、残念ながら日々の教育活動の中で、いじめ・不登校がみられることもまた事実です。昨年度の、いじめ認知件数は小学校107件、中学校90件、計197件でした。令和4年度との比較では小学校が微減、中学校が増加しています。認知後、早期解決のために重要なことは一早く組織的な対応を行うことです。昨年度ご報告いただいたすべてのいじめ事案について、校内対策委員会が開かれ、情報を共有した上で指導方針や役割分担が決定されました。各校の的確な対応に感謝申し上げます。懸念されるのは、中学校1年生の認知件数の増加率です。同一集団でみた場合、小6時に比べて中1時に増加するのは例年のことですが、その増加率が年々高まっているのです。下は、過去3年間における中1の認知件数を、小6時と比較し、その増加率を表したものです。

	中1の認知件数	小6時の認知件数	増加率
R3	48件	29件	166%
R4	29件	10件	290%
R5	54件	16件	338%

その要因の一つにコロナ感染症の影響があると思います。コロナが収束した今、各中学校区で小中連携のあり方を再確認する必要があるかもしれません。小中がお互いに、目指す児童生徒の姿やその達成に向けた指導方針、学習規律やタブレットの活用方法等を理解した上で、児童生徒の日々の指導にあたっていただきたいと思います。

令和6年度佐渡市教育委員会学校教育課の管理主事・指導主事を紹介します（★は新任）

管理主事 本間 智英（管理業務）

指導主事 ★源田 洋平（学習指導）

教育指導主事 名古屋瑞穂（不登校対応）

吹屋 昇（生徒指導）

齋藤千賀子（キャリア教育）

★田中 良樹（学習指導）

村川健太郎（総合教育センター）

古塩 正明（理科教育センター）

★水谷 武（人権教育、同和教育・特別支援教育）



【令和5年度末退職】 指導主事 小田俊裕 教育指導主事 本多アヤ子 庄山佳代子